

平成26年度決算に係る
定期監査
決算審査
調査
調書

平成27年6月

教育委員会事務局 社会教育課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	組織及び業務調べ	2
4	職員の定員、現員調べ	2
5	役付職員の調べ	2
6	主な事業に関する調べ	3～8
7	決算調書（総括表）	9
8	事業別実施状況調べ	10～15
9	予備費の充用調べ	16
10	繰越関係調べ	16
	(1) 継続費逐次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
11	収入証紙取扱額調べ	16
12	収入事務処理状況調べ	17～18
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 寄付金	
	(6) 諸収入	
	(7) 現金の取扱状況	
13	税外収入未済額調べ	19
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	19
15	税外収入不納欠損額調べ	19
16	債務負担行為の状況調べ	20
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	21～23
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(2-2) 補助金（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
	(4-2) 委託料（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
18	工事請負費調べ	24
18-2	工事請負費調べ（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	24
19	財産に関する調べ	25～26
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
20	財産の貸付及び使用許可調べ	27～28
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの）	
21	借受不動産明細調べ	28
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	29
23	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	29
24	寄附物件の受納状況調べ	29
25	備品の処分状況調べ	29
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	29
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
27	貸付金等状況調べ	29
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	29

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

監 査 意 見	処 理 状 況 等
<p>使用できない物品の処理について</p> <p>故障等により使用できないものの中には大型の物品もあり、処分に相当の費用を要すると思われるものもあるが、これらを処分せず放置することは、安全面の管理や施設スペースの有効利用の支障を招き、また、管理意識の低下につながるおそれもある。</p> <p>については、使用できない物品は速やかに売却や棄却等の処分方針を決定し、その実施に必要な費用は予算化するなど、適切に処分の手続を行われたい。</p>	<p>該当物品においては、年式等古く、今後使われる事が見込めないため、平成27年度予算において棄却等処分を行う。</p> <p>(該当物品)</p> <ul style="list-style-type: none">・ハイビジョン・アナライザー・ハイビジョンソフト等

(3) 決算審査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

指 摘 事 項	措 置 て ん 末
<p>ケータイ・インターネット教育啓発推進事業について（口頭指摘）</p> <p>インターネットや携帯電話等の急速な普及により、これらを悪用した犯罪や誹謗中傷などの発生、生活習慣や学習への悪影響など、子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化している。</p> <p>教育委員会では、保護者や児童生徒に対して、ケータイ・インターネットに関する教育啓発、広報活動を行っているが、本県でも子どもたちが犯罪やトラブルなどに巻き込まれる事案が発生している。</p> <p>については、まずは、学校において、情報モラル教育を充実するとともに、家庭や地域において、保護者や大人に子どものケータイ・インターネットの利用実態に関心を持ってもらうための取組を関係部局と連携してさらに進めるべきである。</p> <p>併せて、ノウハウのある民間企業や警察等と協力した学校ネットパトロールなど、実効性のあるケータイ・インターネット対策を講じるべきである。</p>	<p>（当課分）</p> <p>ケータイ・インターネット対策は、まずは家庭での教育（保護者の意識づけ）が重要であり、平成27年度にケータイ・インターネットの利用状況をはじめとする子どもたちの生活実態調査を行い、分析結果を踏まえ、適切な利用等に向けて保護者や家庭への啓発に繋げる。</p> <p>また、子どもたちが安全に安心してインターネットを利用できるよう、PTAや地域で開催される学習会へ「鳥取県ケータイ・インターネット教育推進員」を講師として派遣したり、福祉保健部、警察で出前説明会を開催するなど、引き続き関係部局で連携して取組を進めていく他、低年齢（乳幼児期）からのメディアとの正しい付き合い方を学ぶため、その保護者や家庭教育支援関係者等に向けてのフォーラムを開催することとしている。</p>

3 組織及び業務調べ

課名	係名	課の主な所掌事務
社会教育課	社会教育担当	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の推進に関すること。 ・社会教育の充実にに関すること。 ・情報教育（社会教育に関するものに限る。）に関すること。 ・県立船上山少年自然の家及び県立大山青年の家に関すること。
	生涯学習推進担	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育施設に関すること（他課の所掌に属するものを除く。）。 ・社会教育主事の資格認定に関すること。 ・社会教育関係団体に関すること。（他課の所管に属するものを除く。）。

4 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	27.4.1 現在	26.4.1 現在	27.4.1 現在	26.4.1 現在	27.4.1 現在	26.4.1 現在	27.4.1 現在	26.4.1 現在	
定員	8	8					8	8	
現員	(1)						(1)		1名育休
	9	8					9	8	
過不足	1	0					1	0	
臨時職員	1	1					1	1	
非常勤職員	2	1					2	1	広報専門員①、指導員①

5 役付職員の調べ

(平成27年6月1日現在)

職名	氏名	在職期間	備考
課長	岸田康正	1年 2月	
課長補佐	上杉郁子	1年 2月	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要								
<p>ケータイ・インターネット教育啓発推進事業</p> <p>決算（見込）額 4,228千円</p> <p>（財源内訳）</p> <p>一般財源 4,228千円</p> <p>その他 0千円</p> <p>○将来ビジョン VI育む （2）「人財・鳥取」の推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>（ア）目的</p> <p>ケータイ・インターネットの急速な普及・機器の多様化により、子どもたちの健全な育ちが損なわれる危険性が増大しているため、保護者をはじめとする大人へケータイ・インターネット等とのよりよい接し方について教育啓発を行う。</p> <p>また、特に若い世代の保護者を対象として、乳幼児期・小学校低学年の子どもが、インターネットをはじめとする様々な電子メディアを過度に利用することにより、家庭教育や子どもの育ちが阻害される弊害について啓発を行う。</p> <p>さらに、ケータイ・インターネットの使い方、それがもたらす影響について実態把握を行い、より効果的な教育啓発に生かす。</p> <p>（イ）事業の実施状況</p> <table border="1" data-bbox="464 824 1366 2022"> <thead> <tr> <th data-bbox="464 824 791 869">区分</th> <th data-bbox="791 824 1366 869">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="464 869 791 1503"> <p>ケータイ・インターネット教育啓発推進協議会</p> </td> <td data-bbox="791 869 1366 1503"> <p>ケータイ・インターネット教育啓発の方策の検討及び事業の企画・実施</p> <p>①「電子メディアとの付き合い方フォーラム」</p> <ul style="list-style-type: none"> 若い世代の保護者を対象として、乳幼児期・小学校低学年の子どもが、インターネットをはじめとする様々な電子メディアを過度に利用することにより、家庭教育や子どもの育ちが阻害される弊害について啓発した。 平成26年11月8日 参加者100名 内容 講演、パネルディスカッション <p>②リーフレットの作成・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育啓発リーフレット「電子メディアとうまくつきあおう」5万2000部作成 県内小学校3年生以上、全中学校・特別支援学校小、中学部に 配布 県内携帯電話販売店、大型電器店の店頭にも 配布 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1503 791 1738"> <p>ケータイ・インターネット教育啓発講師派遣事業 <委託先> NPO 法人こども未来ネットワーク</p> </td> <td data-bbox="791 1503 1366 1738"> <p>① 学校や地域で開催される学習会に、ケータイ・インターネット教育推進員を派遣した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 119回派遣 <p>② 「鳥取県ケータイ・インターネット教育推進員」の養成及びスキルアップ研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規推進員27名（合計115名） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1738 791 2022"> <p>ケータイ・インターネット教育啓発広報事業</p> </td> <td data-bbox="791 1738 1366 2022"> <p>携帯電話購入時におけるフィルタリング設定、ペアレンタルコントロールの必要性等について、新聞によって啓発広報した。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	区分	内容	<p>ケータイ・インターネット教育啓発推進協議会</p>	<p>ケータイ・インターネット教育啓発の方策の検討及び事業の企画・実施</p> <p>①「電子メディアとの付き合い方フォーラム」</p> <ul style="list-style-type: none"> 若い世代の保護者を対象として、乳幼児期・小学校低学年の子どもが、インターネットをはじめとする様々な電子メディアを過度に利用することにより、家庭教育や子どもの育ちが阻害される弊害について啓発した。 平成26年11月8日 参加者100名 内容 講演、パネルディスカッション <p>②リーフレットの作成・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育啓発リーフレット「電子メディアとうまくつきあおう」5万2000部作成 県内小学校3年生以上、全中学校・特別支援学校小、中学部に 配布 県内携帯電話販売店、大型電器店の店頭にも 配布 	<p>ケータイ・インターネット教育啓発講師派遣事業 <委託先> NPO 法人こども未来ネットワーク</p>	<p>① 学校や地域で開催される学習会に、ケータイ・インターネット教育推進員を派遣した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 119回派遣 <p>② 「鳥取県ケータイ・インターネット教育推進員」の養成及びスキルアップ研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規推進員27名（合計115名） 	<p>ケータイ・インターネット教育啓発広報事業</p>	<p>携帯電話購入時におけるフィルタリング設定、ペアレンタルコントロールの必要性等について、新聞によって啓発広報した。</p>
区分	内容								
<p>ケータイ・インターネット教育啓発推進協議会</p>	<p>ケータイ・インターネット教育啓発の方策の検討及び事業の企画・実施</p> <p>①「電子メディアとの付き合い方フォーラム」</p> <ul style="list-style-type: none"> 若い世代の保護者を対象として、乳幼児期・小学校低学年の子どもが、インターネットをはじめとする様々な電子メディアを過度に利用することにより、家庭教育や子どもの育ちが阻害される弊害について啓発した。 平成26年11月8日 参加者100名 内容 講演、パネルディスカッション <p>②リーフレットの作成・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育啓発リーフレット「電子メディアとうまくつきあおう」5万2000部作成 県内小学校3年生以上、全中学校・特別支援学校小、中学部に 配布 県内携帯電話販売店、大型電器店の店頭にも 配布 								
<p>ケータイ・インターネット教育啓発講師派遣事業 <委託先> NPO 法人こども未来ネットワーク</p>	<p>① 学校や地域で開催される学習会に、ケータイ・インターネット教育推進員を派遣した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 119回派遣 <p>② 「鳥取県ケータイ・インターネット教育推進員」の養成及びスキルアップ研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規推進員27名（合計115名） 								
<p>ケータイ・インターネット教育啓発広報事業</p>	<p>携帯電話購入時におけるフィルタリング設定、ペアレンタルコントロールの必要性等について、新聞によって啓発広報した。</p>								

事業名	概要
	<p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師派遣の対象を整理し、平成26年度から保護者・地域対象の研修会に派遣することとした。 ・乳幼児からの電子メディアとの望ましい接し方について、保護者の関心を高め、啓発をすすめるためのフォーラムを実施した。 ・リーフレット配布の対象を昨年までの中学校2、3年生から、今年は小学校3年生以上に広げ、携帯電話・スマートフォンだけでなく、音楽プレイヤー、携帯ゲーム機についての啓発も行った。 ・ケータイ・インターネット教育推進員のスキルアップだけでなく、新規推進員を養成した。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォーラム実施後、保育園・幼稚園の保護者の関心が高まり、保育園・幼稚園等未就学のからの講師派遣依頼が増えた。 (H25 6件⇒H26 13件) ・ケータイ・インターネット教育推進員の養成講座を行い、新たに27名の推進員が講師として派遣できることとなった。(合計115名) ・スマートフォンについての啓発だけでなく、ゲーム機・音楽プレイヤーなど、インターネット端末の多様化に合わせてリーフレットを新たに作成した。今年度は配布対象を小学校3年生以上及びその保護者に拡大するとともに、配布時期をクリスマス前に早めて、啓発を行った。また、地元新聞及び地元情報誌への広告掲載などで、保護者への啓発を図ったことにより、携帯電話・スマートフォンだけでなく、ゲーム等メディア全体についての講演内容の依頼が増えた。ケータイ・インターネットとの関わりに関する意識が高まってきている。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット機器や機能の急速な発展により、ケータイ・インターネットの利用環境が急速に変化しており、対処すべき様々なケースにいち早く対応して啓発活動を推進していく必要がある。 ・教職員や保護者が、子どもたちのインターネット利用の実態を十分に把握できていない状況があるため、アンケート等で実態を把握し、啓発に生かしていく必要がある。 ・乳幼児期からの電子メディアとの望ましい接し方について、主として保護者自身の関心を高め、子育て・家庭教育の中での適切な実践を広める。併せて、広く県民への周知を図る必要がある

事業名	概要																											
<p>本の大好きな子どもを育てるプロジェクト</p> <p>決算(見込)額 1,597千円 (財源内訳) 一般財源 1,597千円 その他 0千円</p> <p>○将来ビジョン VI育む (2)「人財・鳥取の推進」</p> <p>○政策項目 IV人材とっとり ③-2 子どもの体と心育成プロジェクト</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 子どもたちがより効果的な図書との関わりを持つための取組みとして、読書ボランティアの育成、子ども読書アドバイザーの派遣や児童生徒の読書推進の啓発など、子どもの読書活動を推進するための事業を展開した。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>①子ども読書アドバイザー研修会 子ども読書アドバイザーとして活動するにあたっての基本的なスキルアップを図るとともに、互いの実践をもとに情報交換をした。</p> <table border="1" data-bbox="432 656 1366 952"> <thead> <tr> <th></th> <th>期日・会場</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>9月27日(土) 米子市立図書館</td> <td>テーマ:障がいのある子ども達の読書活動を支援するために 講師:県教委特別支援教育課 加藤典子主事、 県立皆生養護学校 毛利英子教諭</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>10月18日(土) 倉吉交流プラザ</td> <td>テーマ:子どもがよるこぶ読み聞かせのために 講師:対馬初音氏</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>11月15日(土) 鳥取県立図書館</td> <td>テーマ:子ども達と本の関わり大切さ 講師:宮地敏子氏</td> </tr> </tbody> </table> <p>②子ども読書アドバイザー派遣事業 子どもの読書に関する知識や豊富な経験を持つ「子ども読書アドバイザー」を、保護者会や読み聞かせボランティアの研修会に講師として派遣した。 ・派遣人数 49名 ・派遣件数 40件</p> <table border="1" data-bbox="445 1144 1362 1395"> <thead> <tr> <th>派遣区分</th> <th>派遣先</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>読み聞かせボランティア研修</td> <td>幼稚園、小学校、児童センター等</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>保護者研修</td> <td>幼稚園・保育所、子育てサークル、 子育てセンター、小中学校</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>子育て支援者、指導者研修</td> <td>託児ボランティア、幼保・図書館職員</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>保育事前学習</td> <td>高等学校</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>③本でつなぐわたしたちの未来プロジェクト～中学生ポップコンテスト (目的) ・「鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン(第3次計画)」(H26.3 策定)に基づく子どもの読書推進施策の一環として、読書離れの傾向が顕著な中学生を対象に実施 ・読書に親しんでいる生徒だけでなく、あまり本を読まない生徒にも関心を持って読書に取り組み、本を読むことの楽しさや大切さを実感する機会となることを目指す。 (内容) ・中学生が憧れる職業に就いている著名人等の推薦図書の内容を表現したポップを募集 ・最優秀作品の応募者は、本の推薦者を訪問し、推薦者が影響を受けた本や読書から得たもの、10代の頃の夢や希望、挫折の経験のほか、日々努力していることなどについてインタビュー ・作品数等 応募作品総数 116点 / 最優秀賞9点</p> <p>(本の推薦者) 3名 元シドニー五輪競泳日本代表 萩原 智子(はぎわら ともこ)氏 境港市在住パティシエ 菅田 貴之(おんだ たかゆき)氏 鳥取県知事 平井 伸治</p>		期日・会場	内容	第1回	9月27日(土) 米子市立図書館	テーマ:障がいのある子ども達の読書活動を支援するために 講師:県教委特別支援教育課 加藤典子主事、 県立皆生養護学校 毛利英子教諭	第2回	10月18日(土) 倉吉交流プラザ	テーマ:子どもがよるこぶ読み聞かせのために 講師:対馬初音氏	第3回	11月15日(土) 鳥取県立図書館	テーマ:子ども達と本の関わり大切さ 講師:宮地敏子氏	派遣区分	派遣先	件数	読み聞かせボランティア研修	幼稚園、小学校、児童センター等	14	保護者研修	幼稚園・保育所、子育てサークル、 子育てセンター、小中学校	20	子育て支援者、指導者研修	託児ボランティア、幼保・図書館職員	3	保育事前学習	高等学校	3
	期日・会場	内容																										
第1回	9月27日(土) 米子市立図書館	テーマ:障がいのある子ども達の読書活動を支援するために 講師:県教委特別支援教育課 加藤典子主事、 県立皆生養護学校 毛利英子教諭																										
第2回	10月18日(土) 倉吉交流プラザ	テーマ:子どもがよるこぶ読み聞かせのために 講師:対馬初音氏																										
第3回	11月15日(土) 鳥取県立図書館	テーマ:子ども達と本の関わり大切さ 講師:宮地敏子氏																										
派遣区分	派遣先	件数																										
読み聞かせボランティア研修	幼稚園、小学校、児童センター等	14																										
保護者研修	幼稚園・保育所、子育てサークル、 子育てセンター、小中学校	20																										
子育て支援者、指導者研修	託児ボランティア、幼保・図書館職員	3																										
保育事前学習	高等学校	3																										

事業名	概要
	<p>④家庭読書啓発リーフレットの配布 平成 24 年度に作成したリーフレット「本でつながる親子のコミュニケーション」を学校、幼稚園、図書館、子育て支援センター等に配布した。</p> <p>⑤大人も子どもも読書キャンペーン ホームページ・広報誌を利用した啓発（読書アドバイザー派遣、子どもの読書週間期間中の関連事業の広報等）</p> <p>イ 平成 26 年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 「鳥取県子ども読書アドバイザー研修会」により、アドバイザーが、相互に日ごろの活動、成果、課題に関する情報を交換し、スキルアップや今後の課題について認識を共有することができた。</p> <p>ウ 成果 (子ども読書アドバイザー) ・子ども読書アドバイザーは、保護者や教職員等に対して読み聞かせの重要性を伝える存在となっており、継続的に活用する機関も現れている。 ・研修会で読書アドバイザー間の情報交換を行い、ここで出たアドバイザーの意見を活かしてアドバイザー相互のネットワークの構築に取り組んだ。 (中学生ポップコンテスト) ・鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン第 3 次計画に基づき、読書離れの傾向が見られる中学生に向けた新たな啓発として取り組んだ。 ・社会の第一線で活躍する人物から、自らの体験を踏まえた、読書や夢をかなえるための日々の努力の大切さなどを聞くことができ、本を読むことが未来の自分にどのように影響するか感じる事ができた。</p> <p>エ 課題 ・第 3 次計画の重要な取組指標である不読率（1 ヶ月に 1 冊も本を読まない割合）の改善などを旨とし、関係機関が連携し、読書や読み聞かせの重要性について、児童・生徒に働きかけるとともに保護者への理解を一層深めていく。</p>

事業名	概要																		
<p>長期宿泊体験学習モデル事業 決算(見込)額 1,048千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 1,048千円 その他 0千円</p> <p>○将来ビジョン VI育む (2)「人財・鳥取」の推進</p> <p>○政策項目 IV人材とっとり ①-2 子育て環境日本一の推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 教育課程に組み込む事が可能な、長期宿泊(4泊5日程度)を伴う自然体験プログラムをモデル校指定して実施することにより、子ども達の間関係・コミュニケーション能力、自主性・自立心等の向上を図るとともに、授業時間の確保を図る。また、効果的なプログラムの開発を行い、今後の市町村等での実施に役立てる。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>【東部地区】 実施校：岩美西小学校 参加人数：45名(児童38名 教員7名)</p> <table border="1" data-bbox="427 837 1378 1003"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>場所</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年 10月6日(月) ~10日(金)</td> <td>船上山 少年自然の家</td> <td>野外炊飯、キャンプファイヤー、登山、ナイトウォーク、オリエンテーリング等</td> </tr> </tbody> </table> <p>【中部地区】 実施校：河北小学校 参加人数：75名(児童64名 教員・保護者11名)</p> <table border="1" data-bbox="427 1167 1378 1332"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>場所</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年 9月16日(火) ~19日(金)</td> <td>船上山 少年自然の家</td> <td>野外炊飯、キャンプファイヤー、登山、ナイトウォーク、リヤカーロードウォーク等</td> </tr> </tbody> </table> <p>【西部地区】 実施校：日吉津小学校 参加人数：62名(児童49名 教員・保護者13名)</p> <table border="1" data-bbox="427 1496 1378 1662"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>場所</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年 9月8日(月)~ 12日(金)</td> <td>大山 青年の家</td> <td>野外炊飯、キャンプファイヤー、カヌー、星空観察、絵画教室、オリエンテーリング等</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に保護者説明会を実施し、保護者の理解に努めた。 ・実施校との事前打ち合わせを複数回行い、当日のスムーズな実施ができた。 	日時	場所	活動内容	平成26年 10月6日(月) ~10日(金)	船上山 少年自然の家	野外炊飯、キャンプファイヤー、登山、ナイトウォーク、オリエンテーリング等	日時	場所	活動内容	平成26年 9月16日(火) ~19日(金)	船上山 少年自然の家	野外炊飯、キャンプファイヤー、登山、ナイトウォーク、リヤカーロードウォーク等	日時	場所	活動内容	平成26年 9月8日(月)~ 12日(金)	大山 青年の家	野外炊飯、キャンプファイヤー、カヌー、星空観察、絵画教室、オリエンテーリング等
日時	場所	活動内容																	
平成26年 10月6日(月) ~10日(金)	船上山 少年自然の家	野外炊飯、キャンプファイヤー、登山、ナイトウォーク、オリエンテーリング等																	
日時	場所	活動内容																	
平成26年 9月16日(火) ~19日(金)	船上山 少年自然の家	野外炊飯、キャンプファイヤー、登山、ナイトウォーク、リヤカーロードウォーク等																	
日時	場所	活動内容																	
平成26年 9月8日(月)~ 12日(金)	大山 青年の家	野外炊飯、キャンプファイヤー、カヌー、星空観察、絵画教室、オリエンテーリング等																	

ウ 成 果

- ・施設職員の持つ活動スキルと、引率教員の日ごろの児童理解による指導力を十分に活かすことができた。
- ・1泊2日の集団宿泊体験学習に比べ、同じ体験活動を複数回行うことができるため、子ども達が成功体験を得やすく、自己肯定感を強めることができた。
- ・子ども達の自立心・自主性や、規範意識の向上などが見られた。
- ・長期間、自宅から離れることで、家族との関係を振り返る時間が取れた。
- ・プログラムの中に座学の時間も取り入れ、授業時間の確保にも行った。

エ 課 題

- ・施設の職員が指導等にも関わるため引率教員の負担感は減るが、全日程を通して引率する場合はやはり負担感を大きく感じるため、引率のあり方やサポートの体制について検討が必要である。
- ・小学校の1年間のスケジュールの中で、4泊5日程度の日程を確保することが難しく、啓発活動の充実が必要である。
- ・ボランティアの人数により、グループワーク等の活動の実施に影響がでるため、時期等を考慮し安定した確保が必要である。

7 決算調書
(総括表)
一般会計

(単位 円)

区分	科目	予算			現額			決算額の内訳		要年度繰越額 C	差引増減額 A-B-C	備考
		当初予算額	修正予算額	繰越費及び繰越事業費額	予備費支出及び流用増減	計 A	決算額 B	本庁	出納機関			
歳	社会教育総務費	32,841,000				32,841,000	24,017,121	23,372,590	644,531		8,823,879	
	青少年社会教育施設費	79,531,000				79,531,000	68,265,239		68,265,239		11,265,761	
	生涯学習センター費	91,620,000				91,620,000	90,411,760	90,411,760			1,208,240	
出												
	合計	203,992,000				203,992,000	182,694,120	113,784,350	68,909,770		21,297,880	
同上	教育使用料	3,119,000				3,119,000	3,577,095				△ 458,095	
財	行政財産使用料	137,000				137,000	137,930				△ 930	
源	教育費補助金											
財	繰越金											
源	雑入	4,377,000				4,377,000	3,613,102				763,898	
内	債											
記	小計	7,633,000				7,633,000	7,328,127				304,873	
	一般県費充当	196,359,000				196,359,000	175,365,993				20,993,007	
合	合計	203,992,000				203,992,000	182,694,120	113,784,350	68,909,770		21,297,880	

8 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度 繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
社会教育総務費					
社会教育企画費	11,719,000	8,648,539	0	3,070,461	(別紙のとおり)
(主)ケータイ・インターネット教育啓 発推進事業	4,942,000	4,227,926	0	714,074	
県市町村社会教育振興事 業	1,106,000	325,790	0	780,210	(別紙のとおり)
とっとり県民カレッジ事 業	8,149,000	6,080,194	0	2,068,806	(別紙のとおり)
社会教育団体等による地 域づくり支援事業	3,635,000	3,138,020	0	496,980	(別紙のとおり)
(主)本の大好きな子ども を育てるプロジェク ト	3,290,000	1,596,652	0	1,693,348	
目 計	32,841,000	24,017,121	0	8,823,879	

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度 繰越額	差引 残額	事業の計画と実績・成果									
青少年社会 教育施設費														
船上山少年 自然の家運 営費	33,971,000	30,570,314	0	3,400,686	<p>船上山少年自然の家の運営及び施設の維持管理を行った。(平成18年度から直営)</p> <p>(1) 年間受入者数 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">年間受入者数</th> </tr> <tr> <th>日帰り</th> <th>宿泊</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12,487</td> <td>13,438</td> <td>25,925</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) その他施設修繕等(営繕費執行)</p>	年間受入者数			日帰り	宿泊	計	12,487	13,438	25,925
年間受入者数														
日帰り	宿泊	計												
12,487	13,438	25,925												
船上山少年 自然の家事 業費	3,326,000	1,811,407	0	1,514,593	<p>船上山少年自然の家の運営及び施設の維持管理を行った。</p> <p>・主催事業の実施状況 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主催事業名</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>さくら祭りなど 計13事業</td> <td>3,210</td> </tr> </tbody> </table>	主催事業名	計	さくら祭りなど 計13事業	3,210					
主催事業名	計													
さくら祭りなど 計13事業	3,210													
大山青年の 家運営費	36,457,000	32,027,097	0	4,429,903	<p>大山青年の家の運営及び施設の維持管理を行った。(平成18年度から直営)</p> <p>(1) 年間受入者数 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">年間受入者数</th> </tr> <tr> <th>日帰り</th> <th>宿泊</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13,657</td> <td>21,656</td> <td>35,313</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) その他施設修繕等(営繕費執行)</p>	年間受入者数			日帰り	宿泊	計	13,657	21,656	35,313
年間受入者数														
日帰り	宿泊	計												
13,657	21,656	35,313												
「大山」自然 が友だち ときめき“本 物”体験事業 費	3,913,000	2,808,105	0	1,104,895	<p>大山の自然を生かした各種主催事業を行った。</p> <p>・主催事業の実施状況 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主催事業名</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>春の親子フェスティバル など 計15事業</td> <td>2,568</td> </tr> </tbody> </table>	主催事業名	計	春の親子フェスティバル など 計15事業	2,568					
主催事業名	計													
春の親子フェスティバル など 計15事業	2,568													
(主)長期宿 泊体験学習 モデル事業	1,864,000	1,048,316	0	815,684										
目 計	79,531,000	68,265,239	0	11,265,761										

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引 残額	事業の計画と実績・成果
生涯学習センター費					
生涯学習センター運営費	91,620,000	90,411,760	0	1,208,240	<p>「鳥取県立生涯学習センターの設置及び管理に関する条例」に基づき、生涯学習センターの管理運営を指定管理者に行わせた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者 (H26~H30) (公財) 鳥取県教育文化財団 ・管理委託費 86,419,000 円 <p>必要な備品の更新を行った。</p>
目 計	91,620,000	90,411,760	0	1,208,240	
合 計	203,992,000	182,69,4120	0	21,297,880	

(別 紙)

事業名	事業の計画と実績・成果			
社会教育企画費 (主)ケータイ・インターネット教育啓発推進事業 県市町村社会教育振興事業	(1) 教育審議会生涯学習分科会兼社会教育委員会議の開催			
	期 日	会 場	会 議 の 内 容	
	【第1回】 平成 27 年 2 月 3 日	白兔会館	・とっとり県民カレッジのあり方及び今後の生涯学習推進施策について ・社会教育関係団体への補助金について	
	【第2回】 平成 27 年 3 月 4 日	県庁第2庁舎	・とっとり県民カレッジのあり方及び今後の生涯学習推進施策について	
	(2) 各種研修派遣			
	研 修 会 名	派遣人数	派 遣 先	派 遣 期 間
	中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会	3名	福岡県立社会教育総合センター	H26. 5. 17～ H26. 5. 18
	第56回全国公民館研究協大会	1名	アスティとくしま	H26. 10. 23～ H26. 10. 24
	<p>地域の教育力を高め、県全体の社会教育の推進を図るため、市町村、公民館等の社会教育関係者の各種研修会や、合同研究協議会等の実施、社会教育主事の養成をした。</p> <p>(1) 県・市町村対象の生涯学習・社会教育担当者研修の実施 (2) 社会教育協議会主催の研修会に対する助成 (3) 社会教育主事養成</p> <p>社会教育主事に必要な専門的知識、技能を修得させ、資格を付与することを目的とした社会教育主事講習Bをインターネットを活用して、鳥取県内で受講できるようにして、県や市町村教育委員会事務局職員、公民館職員等教育関係者の社会教育主事資格取得を支援した。</p>			
	【社会教育主事講習B（鳥取会場）】			
日 時	平成27年1月21日（水）～2月27日（金）まで（38日間）			
場 所	琴浦町生涯学習センター			
内 容	○生涯学習概論 ○社会教育計画 ○社会教育特講 ○社会教育演習 ・宿泊研修2泊3日（大山青年の家） ・現地研修（倉吉市小鴨公民館、倉吉博物館） ・社会教育計画作成演習			
受講者	11名（全科目受講は、7名）			

事業名

事業の計画と実績・成果

とっとり県民カレッジ事業

多様化・高度化する県民の学習要求に応えるため、社会の様々な教育機関との連携を図り、体系的・総合的な学習機会を提供した。

(1) 主催講座

①未来をひらく鳥取学

地区	回数	受講者数
東部地区	3回	延べ 456名
中部地区	3回	延べ 475名
西部地区	3回	延べ 481名
全県対象	1回	920名
合計	10回	延べ2,332名

②放送利用 2コース

・テレビコース (1番組)		・ビデオコース	
視聴回数	173回	貸出本数	139本
認定単位数	43単位	認定単位数	275単位

(2) 連携講座

154機関 (1,153講座)

- | | | |
|----------|-------------|----------|
| ①生活創造コース | ②健康・スポーツコース | ③文化探求コース |
| ④国際交流コース | ⑤能力開発コース | ⑥教養コース |

社会教育団体等による地域づくり支援事業

社会教育関係団体等が持っている教育力を活用し、健やかな子どもが育つ地域づくりを促進するとともに、各団体の人材育成等に対して助成した。

全県的な組織を有し、県の施策に合致した活動を展開している公共性のある社会教育関係団体を対象として、人材育成、指導者養成の経費について助成し、地域の教育力の向上と本県の生涯学習の推進を図った。

- ・ 県青少年団体補助金 (県連合青年団、ガールスカウト、ボーイスカウト、県子ども会育成連絡協議会)
- ・ 県社会教育関係団体 (成人) 補助金 (県連合婦人会)

(主)本の大好きな子どもを育てるプロジェクト

9 予備費の充用調べ

該当なし

10 繰越関係調べ

(1) 継続費進次繰越調べ

該当なし

(2) 繰越明許費調べ

該当なし

(3) 事故繰越調べ

該当なし

16

11 収入証紙取扱調べ

該当なし

12 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金

該 当 な し

(2) 使用料

(単位：円)

目	収入科 目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備 考
	節	細節							
教育使用料	社会教育施設使用料 (青少年社会教育施設)					0	0		
	本庁執行分計(目)		0	0	0	0	0		
	出納機関執行分計(目)			3,577,095	3,577,095	0	0		各社会教育施設
	目計			3,577,095	3,577,095	0	0		
行政財産使用料	行政財産使用料		4	7,500	7,500	0	0	行政財産使用料条例	
	本庁執行分計(目)		4	7,500	7,500	0	0		
	出納機関執行分計(目)			130,430	130,430	0	0		
	目計			137,930	137,930	0	0		
	合 計			3,715,025	3,715,025	0	0		

(3) 手数料

該 当 な し

(4) 財産収入

該 当 な し

(5) 寄附金

該 当 な し

(単位:円)

(6) 諸収入

目	収入		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	目							
雑収入	雑収入	未来をひらく鳥取学資料代	723	723,000	723,000	0	0	とっとり県立カレッジ設置要項	
		非常勤職員雇用保険料本人負担分	2	19,830	19,830	0	0		
		臨時的任用職員雇用保険料本人負担分	1	2,126	2,126	0	0		
本庁執行分計(目)			726	744,956	744,956	0	0		
出納機関執行分計(目)				2,868,146	2,868,146	0	0		各社会教育施設
目計				3,613,102	3,613,102	0	0		
違約金	違約金	大山青年の家清掃業務委託契約解除違約金	1	176,904	0	0	176,904		
本庁執行分計(目)			1	176,904	0	0	176,904		
出納機関執行分計(目)				0	0	0	0		
目計				176,904	0	0	176,904		
合計				3,790,006	3,613,102	0	176,904		

(7) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

(単位:円)

収入科目(節)	収入済額	備考
雑収入	82,000	未来をひらく鳥取学資料代
合計	82,000 (82件)	

イ つり銭の状況

(平成27年3月31日現在)

つり銭の有無	無	つり銭の額(円)	0
--------	---	----------	---

13 税外収入未済額調べ

(単位：円)

収入科目 目	区分 節	過 年				度 分			現 年 度			収入未済 額 A+B	未 收 理 由	
		前年 度 以前から の繰越額	左のう ち 収入済 額	不 納 欠 繰額	差引収入 未 済 額 A	収入未済額の調定年度内訳			調定額	収入済 額	収 入 未 済 額 B			
						23年度 以前	24年度	25年度						
違約金														
本庁執行分計(目)		176,904	0	0	176,904	0	0	0	0	0	0	176,904	会社側による回収不能(大山青年の家清掃業務委託の契約解除違約金)	
出納機関執行分計(目)		176,904	0	0	176,904	0	0	0	0	0	0	176,904		
合計		176,904	0	0	176,904	0	0	0	0	0	0	176,904		

14 未収金回収促進のための取組状況調べ

収入科目	目		節		細 節	
	違約金	債権管理事務取扱要領の作成の有無	違約金	作成済み(H年 月 作成)	未作成	
債権分類の実施 (分類状況が分かる資料を添付すること。)						
督促状発行						
催 告						
臨時訪問						
分納件数						
回収委託						
区分	相手方 件数 (人数)	相手の状況	督促状発行	催 告	臨時訪問	分納件数
過年度分	法人 1	所在不明	× ・文書 ・電話	× ・文書 ・電話		
(上記以外の取組) (取組の効果)						

15 税外収入不納欠損額調べ

該当なし

16 債務負担行為の状況調べ

事業名	種別	設定状況				当該事業の 契約額等	執行(支出)状況					備考
		議決 (補正・当初の別)	期間	限度額	設定年度 の執行額 A		25年度までの執 行額	26年度の 執行額	27年度以降の 執行額	計 B	合計 A+B	
鳥取県立生涯学習セン ター管理委託	委託料	平成25年3月 (平成26年3月変 更議決)	26年度から 30年度まで	432,095,000		0	86,419,000	345,676,000	432,095,000	432,095,000		
青少年社会教育施設警 備等業務委託	委託料	平成25年11月	26年度から 28年度まで	44,352,000		0	12,453,038	24,865,756	37,318,794	37,318,794		
青少年社会教育施設給 食業務委託	委託料	平成23年11月	24年度から 26年度まで	28,202,000		18,634,000	9,568,000	0	28,202,000	28,202,000		
青少年社会教育施設給 食業務委託	委託料	平成26年11月	27年度から 29年度まで	31,209,000		0	0	31,209,000	31,209,000	31,209,000		
青少年社会教育施設清 掃業務委託	委託料	平成23年11月	24年度から 26年度まで	7,356,000		3,563,490	1,781,745	0	5,345,235	5,345,235		
青少年社会教育施設清 掃業務委託	委託料	平成26年11月	27年度から 29年度まで	8,754,000		0	0	6,465,744	6,465,744	6,465,744		
合計				551,968,000	0	22,197,490	110,221,783	408,216,500	540,635,773	540,635,773		

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(単位:円)

予算科目 (目)	予算額	区分	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令 名等(規約、要 綱等を含む。)	備考
社会教育総務費							0		
新規以外のもの							82,000		
本庁執行分計							82,000		
出納機関執行分計							0		
目計							82,000		
青少年社会教育施設費									
新規以外のもの							0		
本庁執行分計							0		
出納機関執行分計							20,000		各社会教育施設
目計							20,000		

(2) 補助金

予算科目 (社会教育総務費)

① 国 補 分

該当なし

② 単 県 分

(単位:円)

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	事業の内容	交付先	間接	補助対象 経補 及補	実施計画承認 文内示年月日 交付年月日 交付決定年月日	着手年月日 了年月日 了報告日	額の確定 年月日 検査年月日 発注・現地 認定年月日	支出の状況		備考	
								支出年月日	金額		
鳥取県社会教育団体補助金 (H23)		鳥取県連合青年団 長 外4件		6,352,700 (補助率: 1/2,10/10) 3,023,020	H26.3.20 H26.4.2外 H26.4.21外	— — H27.3.31外	H27.5.11外 — H27.4.28外	概算 の別	H26.5.28 外11件 H27.3.19 H27.5.21 H27.5.22	3,520,000 △ 213,167 △ 238,653 △ 45,160	
平成26年度中国・四国地区指導者研修会に係る補助金 (H26)		方ールスカウト鳥 取県連盟		233,110 (補助率:1/2上限)	H26.3.20 H26.4.16 H26.5.12	— — H27.4.20	H27.5.22 — H27.5.18	概算	H26.10.1	115,000	新規
鳥取県社会教育協議会補助金 (S41)		鳥取県社会教育協 議会長		472,272 (補助率:定額) 200,000	H26.6.23 H26.7.2 H26.7.8	— — H27.4.6	H27.4.8 — H27.4.6	概算	H26.7.15	200,000	
本庁執行分計										3,338,020	
出納継続執行分計										0	
単 県 分 計										3,338,020	

(2-2) 補助金 (他課から予算の配当替えを受けて執行したものの)

予算科目

① 国 補 分

該当なし

② 単 県 分

該当なし

(3) 交 付 金

該当なし

(4)委託料

(単位:円)

予算科目 (目)	国 道 支 出 の 別	委託料の名称	委託契約の相手方	当初契約		入札等 年月日 (契約締結日 執行年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況		備考
				予定価格	変更契約(最終) 契約額			支出区分	支出金額	
社会教育総務費	単県	平成26年度ケータイ・インターネット教育啓発講師派遣事業実施委託	特定非営利活動法人こども未来ネットワーク	H26.4.1 2,702,700	H26.4.1 ~ H27.3.31	H26.3.26 (免除)	H27.3.31 H27.4.24	概算	1,497,000 1,205,700 △ 426,904	同意契約理由:メディア全般をはじめ、ケータイ・インターネットに特化した内容の学習会のノウハウを熟知し、学習教材及び人材、ネットワークをまかなせる県内唯一の団体であるため。
社会教育総務費	単県	平成26年度ケータイ・インターネット教育啓発推進事業委託	ケータイ・インターネット教育啓発推進協議会	H26.5.27 1,773,250	H26.5.27 ~ H27.3.31	H26.5.21 (免除)	H27.3.31 H27.4.9	概算	1,773,250 △ 258,520	同意契約理由:ケータイ・インターネットに関する教育啓発の推進を図っている団体であり、教育啓発のノウハウを熟知し、本事業を組織的・計画的に全県展開できる唯一の団体であるため。
社会教育総務費	単県	平成26年度「未来をひらく高取学」講師招聘委託	ワールド企画有限公司	H26.4.14 1,451,908	H26.4.14 ~ H26.7.27	H26.3.28 (免除)	H26.7.27 H26.7.27	精算	1,451,908	同意契約理由:植栽業者に依頼した場合、見積書を作成する段階で、同時に講師の日程を押さえることとなるため、県が植栽業者に依頼しても、最初に講師を交渉した業者しか見積書を提出できず、交渉が2番目になった業者は、講師から「その日は予約済み」と断られてしまい、植栽業者による入札が成立しないため。
予定価格が50万円未満のもの 本庁執行分計 出納機關執行分計 目計									5,242,434 0 5,242,434	
生涯学習センター費	単県	平成26年度鳥取県立生涯学習センター管理委託	財団法人鳥取県教育文化財団	H26.3.11 432,095,000	H26.4.1 ~ H31.3.31	(免除)		前金	25,530,000 20,525,000 21,971,000 18,393,000	条例に基づき管理指定
予定価格が50万円未満のもの 本庁執行分計 出納機關執行分計 目計 合計									86,419,000 0 86,419,000 91,661,434	

(4-2)委託料(他課から予算の配当替えを受けて執行したものの該当なし)

18 工事請負費調べ

該当なし

18-2 工事請負費調べ(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)

(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	工事名	当初契約		人社等 年月日 (契約保証金 納付等年月 日)	請負人	支出の状況		完了 年月日 履行検査 年月日	変更 (解除) の理由 ・内容	備考	
			(起工年月日) 設計額	(契約年月日) 契約額			工 期	工 期				支出区分
教育財産管理費	単	県立船上山少年自然の家 家力又一倉庫新築工事	(H26.4.3)	(H26.4.3)	H26.3.25	讃岐木材株式 会社	完	H26.7.31	H26.7.10			
			(H26.7.8)	4,395,600	(H26.4.3)				H26.7.15			H26.7.15
				5,619,240	制限付							
教育財産管理費	単	県立大山青年の家男女 浴室改修工事	(H26.12.11)	(H26.12.11)	H26.12.5	日海工務店	前 完	H27.1.6 H27.2.23	H27.1.30	管理棟トイレブース改修を 追加し、追加工事に伴い工 期を延長した。		
			(H27.1.7)	1,836,000	随				H27.2.10			H27.2.10
本庁執行分計									8,034,120			
出納機關執行分計												
目計									8,034,120			
合計									8,034,120			

19 財産に関する調べ

(1)公有財産

ア 土地

(平成27年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関又は施設 の名称	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考		
			面積(m ²)	価額(円)	増減 別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記 年月日		面積 (m ²)	価額(円)
行政財産	大山青年の家	西伯郡大山町 赤松明間原312-1 外	95,559.00	45,739,686	増加 H				H	95,559.00	45,739,686		
	生涯学習セン ター	鳥取市扇町21	4,271.41	不明	増加 H				H	4,271.41	不明		
計			99,830.41							99,830.41			
普通財産													
計													
合計			99,830.41							99,830.41			

イ 建物

(平成27年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設 名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考		
			面積(m ²)	価額(円)	増減 別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記 年月日		面積 (m ²)	価額(円)
	船上山 少年自然の家	東伯郡琴浦町 山川807-2	3,619.93	462,090,003	増加 H	H26.7.24	48.00	5,619,240	倉庫新築	H	3,667.93	467,709,243	
行政財産	大山青年の家	西伯郡大山町 赤松明間原312-1	3,959.61	432,453,525	増加 H					H	3,959.61	432,453,525	
	生涯学習セン ター	鳥取市扇町21	4,957.38	979,089,536	増加 H					H	4,957.38	979,089,536	
計			12,536.92	1,873,633,064			48.00	5,619,240			12,584.92	1,879,252,304	
普通財産													
計													
合計			12,536.92	1,873,633,064			48	5,619,240			12,585	1,879,252,304	

ウ 山林
該当なし

エ 不動産売却等
該 当 な し

オ 財産の交換
該 当 な し

カ 動 産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）
該 当 な し

キ 物 権
該 当 な し

ク 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）
該 当 な し

ケ 有価証券
該 当 な し

コ 出資による権利
該 当 な し

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成27年3月31日現在)

種 別	前年度末現在	本年度中		本年度末現在	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び 郵便はがき	4,282	48,114	49,536	2,860	
合 計	4,282	48,114	49,536	2,860	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成27年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
枚 68	枚 0	枚 25 91,440	枚 43

(3) 基 金

該 当 な し

(4) 債 権

(平成27年3月31日現在)

債 権 の 名 称	前年度末		本 年 度 中				本年度末		備 考
			増		減				
	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	
行政財産使用料	18,000	4	15,000	1	7,500	1	25,500	4	土地使用料 (電気事業)
合 計	18,000	4	15,000	1	7,500	1	25,500	4	

20 財産の貸付及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

行政 普通 財産 区分	貸 付 目 的 (使用許可)	所 在 地	数 量 又 は 面 積	貸 付 日 月 年 (使用許可)	当 初 貸 付 日 月 年 (使用許可)	貸 付 期 間 (使用許可)	貸付(使用)料(円)		貸 付 先 住 氏 名	備 考
							単 価 月 額 ・ 年 額	本 年 度 の 貸 付 料 (使用)		
行政財産	電力供給配電線支持物設置	鳥取市扇町21(生涯学習センター)	コンクリート柱1本	H25.3.1	H5.7.19	H25.4.1 ~ H30.3.31	1,500	1,500	鳥取市新品治町1-6 中国電力(株)鳥取営業所長	生涯学習センター
	"	鳥取市扇町21(生涯学習センター)	電柱1本 支線1条	H22.2.22	H12.9.18	H22.4.1 ~ H27.3.31	3,000	3,000	鳥取市新品治町1-6 中国電力(株)鳥取営業所長	生涯学習センター
	"	鳥取市扇町21(生涯学習センター)	電柱1本 支線1条	H22.2.22	H12.9.18	H27.4.1 ~ H32.3.31	3,000	0	鳥取市新品治町1-6 中国電力(株)鳥取営業所長	生涯学習センター
	"	鳥取市扇町21(生涯学習センター)	共架線(電柱1本)	H25.3.1	H25.3.1	H25.3.1 ~ H29.3.31	1,500	1,500	鳥取市湯所町2-258 西日本電信電話(株)鳥取支社所長	生涯学習センター
	"	鳥取市扇町21(生涯学習センター)	共架線(電柱1本)	H25.3.1	H25.3.1	H25.3.1 ~ H29.3.31	1,500	1,500	鳥取市富安2-137 日本海ケーブルネットワーク(株)代表取締役社主兼社長	生涯学習センター
計										
普通財産										
計										
合計								7,500		

イ 建物
該当なし

(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄付受納時の評価額が100万円以上のもの)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住所氏名				
綴帳	1	フック刺しゅう巾1 4.8m×高さ5.5m	H26.4.1 ~ H31.3.31	無料	無料	鳥取市源太12番地 (公財)鳥取県教育 文化財団理事長		生涯学習センター	施設の管理運営に供するた め	
グラブ アノ	1	ヤマハGF	H26.4.1 ~ H31.3.31	"	"	"		"	"	
16ミリ映 写機	1	エイキEX-900 ONO.9067	H26.4.1 ~ H31.3.31	"	"	"		"	"	
デジタル印 刷機	1	リングラフ RZ670	H26.4.1 ~ H31.3.31	"	"	"		"	"	
キセノンピ ンスポット ライト	2	松村電機製作所 SUPERSOL- 1003SR/e	H26.4.1 ~ H31.3.31	"	"	"		"	"	
合計				-	-					

(平成26年3月31日現在)

2.1 借受不動産明細調べ

(平成26年3月31日現在)

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は 面積	契約の状況		借受先		備考	
					契約書の有無	借受期間	借料(円)	住所氏名		
					借料	単価	本年度の借料			
土地	山林	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川807-2	26,647	有	S51.5.18 ~ 存続中	月額・年額	無償	東伯郡琴浦町山川807-2 以西財産区管理者 琴浦町長	本課で契約締結
土地	畑	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川807-11	299	有	S51.5.18 ~ 存続中	月額・年額	無償	東伯郡琴浦町山川807-2 以西財産区管理者 琴浦町長	"
土地	原野	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川807-4	214	有	H2.4.27 ~ 存続中	月額・年額	無償	東伯郡琴浦町山川807-2 以西財産区管理者 琴浦町長	"
土地	畑	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川12~14	751	有	H2.4.27 ~ 存続中	月額・年額	無償	東伯郡琴浦町赤碕1142-3 琴浦町 琴浦町長	"
合計								0		

2 2 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ
該当なし

2 3 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ
該当なし

2 4 寄附物件の受納状況調べ
該当なし

2 5 備品の処分状況調べ
該当なし

2 6 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
(1) 現金、有価証券、物品の失望、損傷調べ
該当なし

(2) 物品の照合
該当なし

2 7 貸付金等状況調べ
該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし